

わかくさ

社会福祉法人 常光会
児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田寺屋2203
TEL(0880)33-0247
FAX(0880)33-0518
グループホームTEL(0880)33-1360



◆◆◆

平成十七年度若草園は住籍児童数四十五名でスタートしました。定員は四十六名ですのでほぼ定員いっぱいの状態です。

若草園の子ども達は現在、本園の他に二カ所のグループホーム（アドラムの家と森田ホーム）、そして本園の敷地内にある高校生グループ棟と四カ所に分かれて生活しています。これは本園が手狭なこともあります、子ども達ができるだけ小さい団体で生活できるようにと配慮したものです。厚生労働省は近年「小規模グループケア」という表現で「ケア単位の小規模化」を推進するようになります。若草園は青木浩前園長が昭和五十八年から積極的にグループホーム「アドラムの家」を設置して小規模化に取り組んできました。このことは全国的に見ても先見性のある取り組みであつたといえます。

一方、本園は昭和四十四年に建てられた建物で築三十年になりました。アドラムの家もかなり老朽化がすすみました。また、子ども達の心理的ケアや、地域の子育て支援といった役割を果たすためには現在の既存の建物だけではとても対応できません。予想される南海大地震への対策も必要です。

こうした観点から、この五月に開かれた当法人理事会において、若草園の改築を目指して「建築委員会」を設置することが決まりました。

構想としては

- (1)現在の本園の建物を事務室やカウンセリングルーム、プレイセラピールーム、児童家庭支援センター、ショートステイルーム等、多目的に活用できるよう改裝する。
- (2)子どもと職員がゆとりをもつて生活できるように、ケア単位を小規模化した生活棟を新築する。といった内容です。二年ほどの時間をかけて、具体的なプラン作りをおこないます。皆様の今後一層の御支援をお願い致します。

若草園の現状と課題

ボーイスカウト活動

5月28日ボーイスカウト下田地区独居老人の皆さんに温泉のお湯配り



6月26日カブスカウト薬物撲滅運動（宿毛市）



8月5日～8日ボーイスカウト四国大会（松山野外活動センター）



新人職員紹介コーナー

4月に若草園の職員としてきて、

戸惑いもある中何とか環境に慣れ

てきたと思つこの頃です。これま

で広島県呉で同じ児童養護施設で

4年働いておりました。地域は

違えど仕事の中身、子どもを育て

る点で使命・目標は同じ、そう思

い働いています。

ある日、職員さんに言われまし

た。私が、「限界を感じます」と

言うと「限界を感じた時点でそれ

以上ないのだ。終りなのだ。」

と……。

そんな事で諦めず可能性を信じて

いきたいと思いました。

そして子どもに言わされました。

「職員やけん、もっと注意してや!

私は意図して待ちの姿勢でいたと

はいえ、この時は本当に子どもは

よく大人の言動・背中を見て生き

ているのだなと感じた瞬間でした。

先日、卒園生の浜崎一途さんに

メッセージを貰いました。「自分

の想いを伝えてあげて。嫌われる

ことを恐れないで、自分のコトバ

すべてを伝えてあげて」と……

毎日毎日考えさせられます。信念

を持つて子どもの為に頑張ろうと

思います。

本当に良い経験になりました。

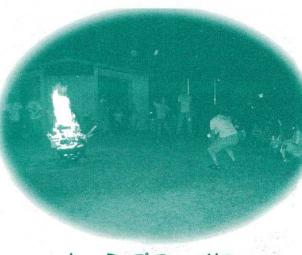
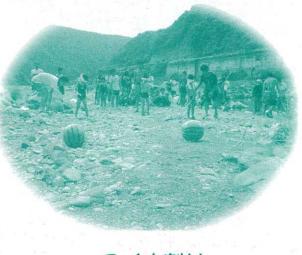
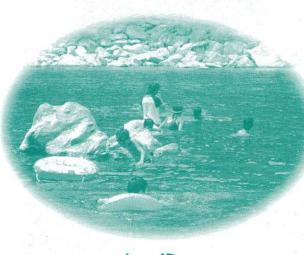
瀧澤 勝

子/ど/も/達/の/活/動

7月19日 百人一首 伊豆杯



7月23日 下田子供祭り（下田小学校）



子ども達の帰省

夏 休みや冬休みといった長期の休みになると、子ども達はお父さんやお母さんが迎えに来てくれて、生まれ育った家に帰省できることを心待ちにします。お父さんやお母さんのお迎えがなく、代わりにお祖父ちゃんやお祖母ちゃん、おじさんやおばさん、なかには里親さんのお迎えを待つ子ども達もいます。今年の夏休みも例外ではなく、気の早い子は夏休みの始まる前から、指折り数えてその日が来るのを待っています。

お家に帰る日には、朝寝坊しがちな子どもでも朝から起き出して荷物の点検を始めたりします。久しぶりに家族で過ごす時間は子ども達にとっては何物にも代え難い、楽しく満ち足りた一時です。お迎えの姿が見えると満面の笑みを浮かべながら、または照れ隠しにわざと仮面面をしてみせながら、それでもいそいそと出かけていきます。

若草園で暮らす子ども達は、そのほとんどが明るく元気で活発な子ども達です。親元から離れて暮らす寂しさや悲しさを日常の生活の中ではあまり表面に出さない子ども達です。けれども、この帰省の頃になると、子ども達の親への思い、家族への思い、が一気に膨らんでくるように思われます。せめてこの短いひとときだけでも、家族一緒に楽しい時間を過ごしてほしいと願っています。

けれども、子ども達の中には様々な事情からこの時期に帰省できない子ども達もいます。周りの子ども達が帰省して人数が減つくると、寂しさが一段と募ります。そうした子ども達に職員は自分の時間を割いて、一人ひとりを連れ出して一緒に時間を過ごします。帰省できない子ども達の想いを完全に受け止めることはできませんが、子どもの寂しさや悲しみに少しでも寄り添いたいと願ながら。

平成16年度 寄付者名簿(順不同・敬称略)

平成16年度も多くの方々にささえていただきました。心から感謝申し上げます。

※※※

1. 国際ソロプロミスト幡多
2. 佐々木整形外科
3. 谷 陽
4. 下田地区民生児童委員(代表 宮崎嘉友)
5. 四万十川観光開発(株)
6. 井沢団地 竹馬の会
7. 小笠原 望
8. 岡山 啓
9. 田中 則明
10. 竹本浩子
11. (有)聖和 パチコドットコム
12. 学校法人 聖和学園
(清和女子中・高等学校 校長 横山義郎)
13. 曾我部紘一郎
14. 下田中学校職員一同
15. 山崎 祥正
16. 森田 方子
17. 河野 義喜
18. 曾根商店
19. 植木 潤吉
20. 平岡 和好
21. 古川 哲哉
22. 藤家
23. 具同保育所
24. パチンコパーラーチェーン(株)浜幸
(代表取締役 浜田 幸広)
25. 魚富
26. 中村小学校
27. 山田 由子
28. 田口 みわ子
29. 山本 市男
30. パチンコ 平和
31. 尾崎 朋之
32. 中村青年会議所
33. 下田小学校
34. 高知県市町村職員互助会
35. 高知市長
36. 高知県里親連合会
37. 幡多保健所
38. 日本鏡餅組合
39. 伊豆 良子
40. 山下整形外科
41. 中村ロータリークラブ
42. 青森県鶴翔農協
43. 堀尾 四郎
44. 池衣料品店
45. 安原 良明
46. とんぼ薬局
47. 津野 六男
48. 増田 幸一
49. 船長 真知子
金子 智一
(地方部正月連合企画係)

ボランティア

- 伊豆 良子
岡崎 光慶
安原 良明
中村ロータリークラブ
中村青年会議所

平成16年度 資金収支計算書

社会福祉法人栄光会

【本部経理区分】

単位:円

経常活動収入	2,441,388
施設整備等収入	0
財務活動収入	0
収入計	2,441,388
経常活動支出	1,441,546
施設整備等支出	0
財務活動支出	18
支出計	1,441,564
当期資金収支差額	999,824

【施設経理区分】

単位:円

経常活動収入	147,103,281
施設整備等収入	0
財務活動収入	0
収入計	147,103,281
経常活動支出	140,640,372
施設整備等支出	138,600
財務活動支出	4,500,000
支出計	145,278,972
当期資金収支差額	1,824,309